



豊玉二中だより

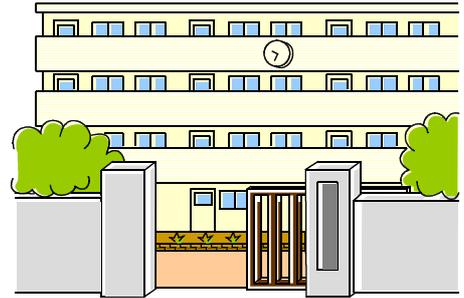
平成28年度 第11号
発行日 3月7日(火)
練馬区立豊玉第二中学校
校長 中山 徹

アンケートにご協力ありがとうございました

校長 中山 徹

保護者の皆様、学校評価アンケートにご協力いただきまして誠にありがとうございました。

今年度も質問数は20とし、保護者の方々だけでなく、生徒対象、そして教職員対象のアンケートも実施しました。保護者の方々については、95.5% (170人/178人) から回答をいただきました。極めて高い回答率であると捉えています。ご協力に感謝申し上げます。(生徒はほぼ全員が回答、教職員は全員が回答しました。)



アンケート用紙に記述欄を設けましたので、保護者の方々より、また生徒からも数々の意見・要望等が出されました。それらの内容については、次年度の教育計画を立てるに当たり、十分参考にしていきたいと考えています。

アンケートには

1 とても思う 2 思う 3 あまり思わない 4 思わない 5 わからない

の5つの選択肢を設けました。

集計結果については、「1 とても思う」と「2 思う」を合わせた数の割合が8割を上回るものを肯定的評価として分析しました。

全体的には、概ね肯定的評価が多く、本校の教育活動が理解され、受けとめられているものと分析しています。ただ、課題が指摘されている項目もあり、今後、対応策を十分協議していく必要性を感じています。

以下、保護者対象アンケート・生徒対象アンケートの質問項目ごとの集計結果に対する所見を述べさせていただきます。

質問1 「生徒は、楽しい学校生活を送っている。」

今年度も本校の目標は、保護者や地域の信託に応える『質の高い教育の提供』及び『安全・安心で信頼される学校づくり』です。保護者・生徒とも約9割の肯定的評価を得られました。約1割の否定的評価にも十分目を向け、生徒全員が安心して楽しい学校生活を送れるよう、更に努力を重ねていきたいと考えています。今後も小規模校の特色を生かし、生徒一人一人を丁寧に見守り育てていきます。

質問2 「落ち着いた学習環境の中で授業が行われている。」

保護者の肯定的評価は昨年度の93.5%から8.8ポイント下がり、今年度は84.7%となりました。生徒全体では昨年度の84%から今年度は70%と下がっています。学年別に見ると、1年生徒の肯定的評価

が35%であり、2年生徒の肯定的評価92%、3年生徒の肯定的評価98%に比べ、大きくかけ離れています。1年生の学習環境づくりに大きな課題があることが示されています。一方、2、3年生は大変落ち着いた環境の中で学習に取り組んでいると考えます。

質問3 「朝の読書活動は、生徒が読書に親しみ読解力を高めていくために役立っている。」

保護者の肯定的評価は昨年度の86%から今年度は83%へ微減しましたが、生徒は昨年度の81%から今年度は88%と7ポイント上がっています。総合すると、高い評価を得ていると考えています。また、今年度のアンケートでも、生徒からは「読書の時間を増やしてほしい」という意見が多く寄せられています。図書室の活用に今後も力を入れ、継続的な読書習慣の定着を図っていきます。

質問4 「スクールライフ（連絡・日記帳）の活用は、明日の学習への意識付けをさせるとともに、担任の生徒理解に役立っている。」

保護者の肯定的評価は64.8%、生徒の肯定的評価は72%でした。1人1人の生徒へのきめ細かな指導、支援を進めていくために、この取組は必要であると考えています。今後も継続していきます。

質問5 「学校は、生徒の学力の定着・向上を図るために、少人数の習熟度別学習を取り入れた授業や、授業の改善に取り組んでいる。」

保護者の肯定的評価は昨年と同じく79%であり、概ねよい評価をいただいています。しかし、生徒については昨年度より6ポイント下がり69%でした。1年生の学習環境づくりに課題があることが、強く影響していると思われます。

質問6 「学習指導の評価・評定の方法（成績の出し方）について生徒が理解できるように説明している。」

保護者の肯定的評価は昨年度より2ポイント下がり84%、生徒も6ポイント下がり83%でした。ポイントはやや下がりましたが、概ね高い評価であると考えています。

質問7 「学習指導の評価・評定は適正で信頼できる。」

保護者の肯定的評価は76%、生徒の肯定的評価は85%でした。質問6と同様、概ね理解が得られていると考えています。今後も、評価・評定の精度を高めていく努力を続けていきます。

質問8 「道徳教育は道徳の時間を要として日々の生活の中で行われ、心の教育が推進されている。」

保護者の肯定的評価は昨年度の69%から70%へ微増しました。生徒の肯定的評価は昨年度と同じ82%でした。今後も教材開発、指導の工夫を重ねていく必要があると考えています。次年度は、校内研修会で道徳教育をとりあげ、「道徳の教科化」に向けて準備を進めていきます。

質問9 「三者面談は、学習や教育相談のために役立っている。」

保護者の肯定的評価は昨年度の95%から更に微増し96%となり、極めて高い評価です。また、生徒の肯定的評価も82%ありました。三者面談は限られた時間での実施となりますが、短時間でも保護者・生徒にとって充実した機会となるよう工夫しています。そのことへの評価であると受けとめています。

質問10 「学校経営計画、学校だより、学年だよりや各お知らせの文書等は、教育目標、指導方針及び指導内容についての保護者の理解を深めるために役立っている。」

保護者の肯定的評価は昨年度の92%から7ポイント下がり今年度は85%でした。生徒の肯定的評価は79%でした。学校の努力を概ね認めていただいていると考えていますが、更なる努力を重ねていきたいと考えます。学校だよりや学年だより、さらには学校ホームページなども通じて、今後も日頃の教育活動、生徒の学習・活動の様子等を積極的に伝えていきます。

質問11 「学校公開・授業参観・道徳授業地区公開講座・保護者会は、学校と保護者・地域が理解を深める機会となっている。」

保護者の肯定的評価は昨年度より10ポイント上がり86%となりました。今年度は土曜授業を年間10日実施し、公開日の日数を増やしたこともあり、そのことが高評価につながったとも考えています。次年度も、今年度同様、土曜授業を10日実施します。また、第1、2学年については、保護者会の回数を増やしていきます。

質問12 「生徒は、時間・服装・言葉遣い・挨拶などの基本的な生活習慣が身に付いている。」

保護者の肯定的評価は昨年度から1ポイント上がり85%、生徒の肯定的評価も1ポイント上がって90%となりました。概ね、高評価であると捉えています。ただ、今年度も本校の伝統である「元気な挨拶」の推進・充実を望む意見が多数出ています。このことを課題としてしっかり受けとめ、学校生活の基本となる生活習慣の指導について次年度も学校全体で継続的に取り組んでいきます。

質問13 「部活動は生徒の主体性、協調性、継続性、忍耐力などを育成し、健全な心身の発達につながっている。」

保護者の肯定的評価は昨年度より5ポイント下がり85%でした。また、生徒の肯定的評価は昨年度とほぼ同じ数字の89%でした。概ね高評価であると捉えています。本校の部活動については、生徒数、教員数、学校施設面の関係で、他校に比べると部の数は少なめですが、限られた条件の中でも生徒が伸び伸びと活動できるよう、今後も工夫を重ねていきます。

質問14 「給食は内容・量ともに適切である。」

保護者の肯定的評価は昨年度とほぼ同じ数字の72%でした。また、生徒は2ポイント上がって74%でした。今年度も本校の栄養教諭が毎日全教室を回り給食指導の様子を把握し、献立の工夫・改善に努めてきました。また、アレルギー対応についても保護者と連携し適切に進めてきました。今後も同様の取組を粘り強く推進していきます。

質問15 「保健、食育などの健康に関する指導や避難訓練、交通安全等の指導は適切に行われている。」

保護者の肯定的評価は昨年度とほぼ同じ数字の80%でした。生徒は2ポイント下がり83%となりました。概ね高評価であると受けとめています。

質問16 「運動会などの行事は生徒の主体性を生かし、実りある行事となっている。」

保護者の肯定的評価は、昨年度より5ポイント上がり94%、生徒の肯定的評価は昨年度より2ポイント下がったものの92%でした。極めて高い評価であると捉えています。次年度も、生徒の主体性を活かす視点を

大切にしたい取組を進めていきます。

質問17 「進路についての説明会（年2回）および進路指導は有効に行われている。」

保護者は昨年度より肯定的評価が3ポイント上がり79%、生徒は昨年度より肯定的評価が3ポイント下がり80%でした。ただし、第3学年生徒は肯定的評価が100%でした。次年度も、進路説明会や進路指導を通して情報提供を丁寧に行っていきます。

質問18 「職場訪問・職場体験等のキャリア教育や留学生交流会・ソーシャルスキルトレーニングなどの体験学習を通して、自己と他者への理解を深める学習が適切に行われている。」

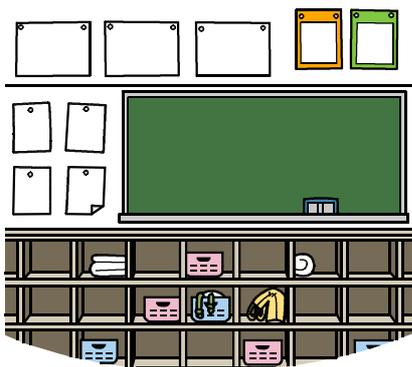
保護者の肯定的評価は6ポイント下がり77%、生徒の肯定的評価も9ポイント下がり82%でした。「職場体験学習の日数を増やしてほしい」との保護者の声もあり、次年度は日数を1日増やすことにしました。また、様々な体験学習を保護者・地域の方に理解・協力していただけるよう、さらなる情報発信に努めていきます。

質問19 「校舎や校庭、体育館（更衣棟を含む）が整備され、それらを活用した教育活動が行われている。」

保護者の肯定的評価は85%、生徒の肯定的評価は78%でした。本校は、体育館・更衣棟・プールまでは校舎から離れており、やや不便な面もありますが、校舎は2年前に新校舎となり大変快適な学習環境が整備されています。その利点を今後も教育活動に活かしていきます。

質問20 「小・中学校間の円滑な接続を図るため、小5・6年生が登校し、中学校教員による授業を体験することは適切な取組である。」

生徒の肯定的評価は昨年度から7ポイント上がり64%でした。また、保護者の肯定的評価は、昨年度より5ポイント上がり、85%となりました。特に1年生保護者の肯定的評価は95%と高評価でした。「小中一貫プログラム」に基づく取組の成果が、保護者に十分に認識されてきていると感じています。



本校は、生徒数が190名に満たない小規模校ですが、多くの機能を有する新校舎が完成し、生徒たちにとって素晴らしい「学びの場」が用意されています。次年度も、教職員で力を合わせ、更に信頼される学校づくりを目指します。

3月17日は卒業式。3年生がいよいよ本校を旅立ちます。
1人1人のこれからの人生に幸多かれと祈ります。

今年度1年間、誠にありがとうございました。
平成29年度もよろしく願い申し上げます。

